

2019 4/23

No.2089

毎月第2・第4火曜日発行

政経 かながわ

一般社団法人
— 神奈川政経懇話会 —



10日に結婚60年を迎えた天皇、皇后両陛下は12日、両陛下の結婚を記念して1965年に開園した横浜市青葉区の自然公園「こどもの国」を訪問された。



政経かながわ

2019 4/23 No.2089

contents

視点・点描

未曾有の不祥事の教訓

3

政治

「平成流」象徴天皇制を問う
メディアに描かれた姿から

4

デモクラシーの現場から 第6回

「令和」発表後の永田町風景

8

食料

あなたの思い出の一品は？
「食」で振り返る平成30年間

10

くらし2019

増える高齢ドライバーの事故

14

アジアの風

無国籍の子どもは全国にいる

16

NNAアジア経済レポート

17

神奈川景気データファイル

18

神奈川景気データファイル

19

事務局だより

◇2019年5月特別講演会
5月29日(水)午後1時30分～3時

ホテル横浜キャメロットジャパン4階「フェアウィンドI」
講師は日本総合研究所副理事長の湯元健治さん
演題は「消費増税を乗り切る企業の成長戦略」

◇2019年6月定例講演会
6月14日(金)午後1時30分～3時

崎陽軒本店5階「マンダリン」
講師は気象予報士・防災士の平井信行さん
演題は「自然災害に備えよう～台風、豪雨、猛暑～」

【お知らせ】 神奈川政経懇話会ではホームページ (www.kanagawa-seikon.jp) に会員コーナーを設けました。新商品の紹介、地域貢献活動、人事などジャンルを問わずさまざまな情報を掲載します。問い合わせは事務局 ☎045 (226) 2121。

視点 点描



未曾有の不祥事の教訓

平成の終幕にあわせ、神奈川新聞では様々な企画を紙面上で展開している。そのうちの 하나가、この約30年に起きた象徴的な出来事を当時取材した記者が振り返る「平成回顧」。社会問題、スポーツ、事件事故などテーマは多岐にわたり、私は神奈川県警の不祥事を担当した。

1999年9月から相次いで発

覚、発生した県警職員による不祥事は、過去にもみ消した事案が報道によって表面化したことに加え、殺人、収賄、性犯罪など新たな問題が続出し、底なしの状態に陥った。

現職警官の覚醒剤使用をもみ消した組織犯罪「覚醒剤隠蔽事件」では9人が書類送検され、当時の本部長、警務部長、生活安全部長、

監察官室長、担当監察官の5人が有罪となった。本部長経験者が有罪になったのは全国初。戦後の警察史上、最悪の不祥事と称された。

不祥事の回顧は、県警の幹部から受けた揺さぶりに苦悶した私自身の体験、県警の混乱收拾と立て直しを託された警察官僚の金高雅仁氏を軸に据えた覚醒剤隠蔽事件の検証、さらには金高氏へのインタビューで構成した。

県警警務部長として不祥事対策に苦闘した後、警察庁刑事局長、官房長などを歴任し、警察庁長官まで上り詰めた金高氏の話は、現在につながる教訓や他の組織にも共通する普遍的な課題を浮かび上がらせており、非常に参考になる。

泥沼化した県警不祥事の背景を「不祥事に甘い体質が不祥事を生む」「隠蔽の成功がさらなる隠蔽

を生んだ」と分析。上層部の甘い判断に部下が倣って組織全体に蔓延したとし、警察官僚、キャリアの責任を指摘した。

県警警務部長を務めた1年11カ月の間、金高氏が行った「おわび会見」は15回に上った。「ここで見放されたら、何十年も信頼は回復しない」との危機感から、深々と頭を下げながら説明を尽くし続けた。先進国の中で格段に良い日本の治安の基盤は警察への信頼であり、「その信頼を崩していくのは、唯一、不祥事だと思う」という認識からだった。

金高氏のインタビューに基づく記事は4月6、7日の神奈川新聞に掲載されたが、ホームページの「カナロコ」にも4月下旬にアップされる予定となっている。是非、ご覧いただきたい。

(神奈川新聞社報道部長

渋谷 文彦)